



●松戸市議会議員 ●松政クラブ幹事長

木村みね子



令和2年(2020年)2月号

新しい夢と希望で、 “常盤平”から“松戸”を変える!

発行 木村みね子
〒270-2262 松戸市常盤平双葉町 4-16
TEL 047 (386) 7135/FAX 047 (386) 0398

木村みね子公式ホームページ

お気軽に、皆様のご意見・お問合せ等お寄せ下さい。

<http://www.mineko-k.jp>

facebookはこちら
<https://www.facebook.com/minekimu/>

年頭ご挨拶

あけましておめでとうございます。
令和となって初めての新年を迎えました。皆様におかれましてはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

早いもので4期目当選より1年余りが過ぎました。日頃より私の議会活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は市内に大型商業施設が開業するなど松戸市の経済発展に期待できる明るい話題があった一方で、台風15号、19号や大雨による災害に見舞われた年でもありました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

世界的な景気減速、激しさを増す米中の覇権争い、北朝鮮問題に加え、年明けには中東で緊張感が高まるなど我が国の経済の先行きには不透明感が漂っております。安倍政権には経済の再生をはじめ山積した課題解決に向け、政策本位の政治の実行に大いに期待するものです。

厚労省の推計によりますと昨年の日本人の国内出生数が86万4千人となること分かりました。大手紙面によりますと90万人割れは1899年の統計開始以来初めてで、少子化のスピードは想定以上のことです。少子化の要因として未婚者の増加が考えられ、その背景として若者の経済基盤の弱さや仕事との両立の難しさなどが指摘されて

おりますが、産み育てやすい環境を整えるには出生後を中心とした政府の政策だけではなく、私が常々触れております様に結婚して安心して子どもを産みたくするような大胆な政策を実現させていかなければなりません。

私の昨年の議会活動を振り返りますと、3月の議会では会派を代表しての代表質問をはじめ6月、9月、12月の各議会におきましても全て登壇し、合わせて28項目の一般質問を致しました。一昨年の改選後はもとより、それ以前からも掲げておりました政策に粘り強く取り組んでまいりました結果、明市民センターの移転・新オープン、受動喫煙防止強化や水泳授業の一部の民間委託などが実現に至りました。詳しくは木村みね子トピックスをご高覧戴けましたら幸甚です。

今年は東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。松戸市はルーマニアとドミニカ共和国のホストタウンとして両国の事前キャンプを受け入れる他、聖火リレーの県内最終区間として松戸中央公園では聖火の到着を祝う式典「セレブレーション」が行われます。今年は皆様と共に躍動感にみなぎる年にしたいと思います。今年も尚一層のご指導とご支援を賜ります様何卒宜しくお願い申し上げます。

皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和2年1月
松戸市議会議員 木村みね子

TOPICS TOPICS 木村みね子トピックス TOPICS TOPICS

木村みね子の政策が実現へ!

木村みね子が4期目の市議選に際し、「高齢者や障がい者にとって健康でやさしい街づくり」「紫煙なき環境で快適に過ごせる街づくり」として掲げておりました政策を市議会におきまして具体的に提言するなど粘り強く取り組んでまいりました結果、次の様に実現に至りました。

ご支援・ご協力を戴きました皆様に心より感謝申し上げます。

◆明市民センターが移転、新オープン!!

地元の皆様より寄せられた声をもとに、木村みね子が平成23年12月以降8年間に亘り市議会本会議、予算審査特別委員会などを通じて移転・建替えに向け取り組んでまいりました明市民センターが令和元年(2019年)11月13日、バリアフリー化した新たな市民センターとして、新京成線・上本郷駅北口より徒歩約6分の県道沿いのバッティングセンター跡地にオープンしました。

エレベーターを設置した2階建ての建物内に図書館分館、ホール、会議室、和室、茶室、授乳室などを備えた施設です。お年寄りやお身体の不自由な方、またお子様連れの方などにとって利便性が高まりました。市民交流の場として、これからも多くの皆様のご利用を願っております。



明市民センター外観



第一会議室

◆望まない受動喫煙の防止強化へ!!

木村みね子が平成27年6月より平成31年3月に掛け複数回に亘り市議会本会議におきまして提言してまいりました受動喫煙対策につきまして、本市では改正健康増進法の一部施行に伴い市民の皆様への健康への悪影響を防止する観点から、また受動喫煙による健康影響が大きい子ども等市民へ配慮することを基本指針として「松戸市受動喫煙防止対策指針」が策定されました。これにより、令和元年(2019年)7月1日より松戸市の公共施設の多くで喫煙所が廃止され、敷地内全面禁煙になりました。

厚労省研究班の推計によりますと受動喫煙により亡くなる方は国内で年間約1万5千人と言われております。皆様には快適に過ごせる街づくりに向けご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

★受動喫煙とは

自分の意思とは関係なく、吸いたくもない他人が吸っているたばこの煙、またはたばこを吸っている他人の呼気に含まれる煙を吸ってしまうことです。受動喫煙は心疾患や脳卒中、肺がんなどを誘発するなど健康に悪影響を及ぼすことが科学的に明らかになっております。



「松戸市禁煙のおもてなし店」ステッカー



市内小中学校の水泳授業、民間事業者へ委託

松飛台第二小「水泳授業」でスイミングクラブ活用へ!

木村みね子が令和元年6月市議会におきまして、市内小中学校の屋外プールの今後のあり方につきまして一般質問した中で、水泳授業の安全確保や維持管理の効率化などを考慮した民間スイミングクラブなどの活用を提言しました。松飛台第二小中学校のプールに破損等不具合が数年前より発生していたことが確認でき、児童の安全性確保の観点から来年度以降は民間スイミングクラブ活用などの対策が講じられることとなりました。



水泳教室イメージ

平成31年・令和元年定例会・本会議「木村みね子」の一般質問

松戸市議会平成31年3月及び令和元年6月、9月、12月定例会・本会議におきまして、木村みね子は皆様からの声や自身の政策を市政に反映させるべく一般質問(平成31年3月は代表質問)に臨み、合わせて28項目に亘る質問を致しました。その一部を抜粋し掲載しました。



■人口減少、少子高齢化により市税収入の大幅増が期待できない状況下で大型事業となり得る調査費計上が多く見受けられる・・・

【市長の政治姿勢】

※まつど議会だよりNo.237(令和元年5月発行)に掲載

質問 市民からの貴重な税金で松戸市をマネジメントするのが市長である。組織のトップとして、その役割をどう認識し、状況判断されているのか。その責任はどのように負われるのか。

【答弁】(市長)

市政運営の進め方として重視しているのは、少子高齢化をはじめとし、日本が抱える問題や市が置かれた状況を総合的に勘案し、市が進む方向を市民や議員と議論し、計画として定め実行していくことにより、政治課題を解決し松戸市をより良く変えていける。今後も総合計画や総合戦略をはじめ、本市の発展の取り組みを引き続き進めることにより、子育て世代や若者などの市民に選ばれ、高齢者を含めた全世代が安心して住み続けたいと思えるまちを構築していく。

■常盤平団地は築60年を迎えようとしており、老朽化が目立ち決して芳しい環境ではない。少子高齢化、人口減少が顕著で現状のままでは常盤平は衰退の一途をたどってしまう・・・

【常盤平団地の再生】

【質問】

UR都市機構は平成31年以降の新たな方針をいかに示されたのか。その方針を踏まえ本市は今後どのように動いていくのか。施政方針で市長が述べたインフラ整備やまちづくりとはどの様なものか。

【答弁】(総合政策部長)

2033年度までの方向性を定めるUR賃貸住宅ストック活用再生ビジョンがUR都市機構より策定、公表された。今後は策定された新ビジョンを踏まえ、ストック再生について優先して検討し実施される様、早い段階でUR都市機構と包括的な協定を締結し、積極的に団地再生について関与しこれまで以上に働きかける。インフラ整備やまちづくりに関してはUR都市機構への働きかけの中で具体化していく。

■常盤平団地が60周年を迎える大きな節目の年に、本市はUR都市機構と包括的な協定の締結を進めるとのことだが・・・

【常盤平地域の活性化】

【質問】

常盤平地域に活気を取り戻す手段の一つとして、け

やき通りの冬季期間におけるイルミネーション装飾をUR都市機構と連携して実施できないか。

【答弁】(総合政策部長)

UR賃貸団地の活用や再生、活性化などについて、UR都市機構と包括的な協定を締結すべく手続きを進めている。この協定締結を起爆剤として、イルミネーション装飾など団地や地域全体が活気を取り戻す施策を提案するなど、具体化に向けてUR都市機構へ働きかける。



けやき通りから常盤平団地を臨む

■最近の研究では、ペットを飼育することで精神的不安感の軽減効果や、高齢者がペットに触れることで高血圧の改善や身体機能のリハビリに役立つとの報告がある・・・

【ペットとの共生】

※まつど議会だよりNo.240(令和2年2月発行)に掲載

【質問】

(1) 動物との触れ合いによる癒しがアニマルセラピーと言われ、ペットを医療分野で活用する機会が出てきている。例えば、聖路加国際病院の小児病棟では小児がんなどと懸命にたたかう子ども達にとってセラピードッグと触れ合えるひとは病気のことを忘れ、生きる力となっている。市立総合医療センターにアニマルセラピーの導入が考えられないか。

(2) 高齢者が高齢のペットを飼育するには苦労が多く、飼い主による飼育放棄やペットが長生きすることで、ペットだけが取り残されるケースが発生する。老犬ホームなどが松戸にも必要ではないか。

【答弁】(病院事業管理者)

(1) アニマルセラピーには、動物との触れ合いを通して患者さんの心を癒したり、治療に対する意欲を高めたりする効果がある。将来的な導入の可能性を視野に入れながら、課題を整理し実施可能となる様な環境整備について調査研究していく。

【答弁】(市長)

(2) ペットの寿命が延び、飼い主がペットと共に年齢を重ね、ペットを飼養することが難しくなるといった課題はペットとの共生に関する重要なテーマである。民間の老犬ホームは千葉県内に6施設あり、今後は大きな役割を担うと認識している。人とペットが共生し快適に暮らせる社会をペット業界や関係機関と協力しながら研究し、実現に繋げていきたい。

■千駄堀池は開園から26年もの間、池の浚渫が一度も実施されておらず、透明度の低下や外来種の増殖により生態系が乱れている・・・

【21世紀の森と広場の千駄堀池の浄化】

【質問】

市民参加による「かいぼり」の実施に向けたその後

の進捗について、千駄堀池の放流施設改良の為の発注はなされたのか。ボランティアの組織化など具体的な提案はあったのか。テレビ局への取材協力の申し込みの結果はどうか。

【答弁】(街づくり部長)

千駄堀池の放流施設設計業務委託は今年7月に契約済みで年度末に設計業務を完了する。ボランティアの組織化については、今後共委員会の意見を踏まえて準備していく。テレビ局の取材協力について問合せしたところ、候補地の1つに取り上げているとのこと。この様に様々な準備を進めている。



千駄堀池

■戦後、特定の組織による偏った教育が行われたことで、歴史認識に誤りが生じた。教科書によって記述が異なることで歴史認識への理解が違ってくる・・・

【正しい歴史認識と愛国心教育】

※まつど議会だよりNo.239(令和元年11月発行)に掲載

【質問】

我が国と諸外国との関係を正常で健全な関係にする為にも正しい記述内容を教員が正しく理解し、正しく教える必要があると考える。また、平成18年12月に安倍政権のもと全面改訂された新教育基本法には愛国心・道徳心の育成が新たな教育目標に明記された。正しい歴史認識と愛国心教育の具体的な指導方法とその内容は、

【答弁】(学校教育部長)

学習指導要領の歴史教育の目標に則って指導を行っており、子どもが授業の中で様々な資料を活用して、歴史的事実を多面的、多角的に考察し、公正に判断する能力を養うことに努めている。愛国心教育については、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情や我が国の将来を担う国民としての自覚や、平和を願う日本人として、世界の国の人々と共に生きることの大切さについて考えを深められる様取り組んでいる。

■野田市の児童虐待事件では、児童相談所や野田市教委の判断や対応のまずさが殊のほか取り上げられていたが・・・

【児童虐待】

【質問】

児相の体制強化といった対策だけで解決できないと思えない。児童虐待の根絶に向け、深刻化を防ぎ発生予防を図る為の様な対策を検討しているのか。

【答弁】(子ども部長)

児童虐待の発生予防については、妊娠期から子育て期に亘る切れ目のない支援を展開する母子保健事業が重要な役割を果たしている。市の子ども家庭相談窓口、全国共通ダイヤル189番の告知と共に深刻化を防ぐ取り組みとして、子ども家庭相談員を2名増員して体制強化を図った。また、松戸市児童虐待防止ネットワークの連携機能強化を活かし、関係機関と連携を密に対応していく。

SCHEDULE

今後の主なスケジュール

SCHEDULE

令和2年3月議会予定

◆会期

2月25日(火)～3月25日(水)まで、30日間の予定です。本会議、常任委員会の他、松戸市の令和2年度予算案を審査し決定する予算審査特別委員会が開催されます。

◆本会議日程

3月2日(月)、3日(火)、4日(水)、5日(木)の4日間 ※3月議会は恒例により会派代表による代表質問となります。

◆市議会の傍聴にお気軽にお越し下さい。

本会議及び常任委員会は開催当日、簡単な手続きで傍聴が可能です。傍聴ご希望の方は松戸市議会事務局(TEL366-7381)までお問い合わせ下さい。